



東京都青梅市新町1-8-2  
社会福祉法人南風会  
青梅学園 (0286-314800)  
かすみの里  
シヤロームみなみ風

理事長挨拶

指田 修

今年梅雨明けが早く猛暑が続いていた中で、ここにきて例年より早く秋雨前線によるうっとうしい日が続いておりませんが、皆様方にはお元気で過ごしてのこととお喜び申し上げます。コロナ禍の中で開催が危ぶまれていました東京オリンピックが、先日無事に終了しまして、選手の活躍のおかげで、日本は金メダルを始めとしたメダル獲得数が過去最高を記録するなど感動を受けた大会でありましたが、コロナの感染拡大もあり複雑な思いのある大会でもありました。昨年の春先から始まった新型コロナウイルスにつきましましては、ここにきて第五波の急速な感染拡大が続いており、全国的にも日増しに感染者が増加し、収拾のめどが立っていない状況が続いておりまして、大変心配な状況になっております。幸いなことに、当法人では利用者様も職員も感染者を出すことなく経過しており、皆様のご協力に感謝申し上げます。今後も引き続き、職員一丸となって感染防止に努めてまいります。さて一昨年からの改築工事を進めておりました青梅学園の新園舎につきましてはコロナ禍の中でも関係者の努力によりまして三月に無事竣工し、四月三日には、出席者を絞った中での竣工式を行い、四月九日には、代替施設の清瀬市園舎からの引越しも完了し、現在は新しい園舎での生活も落ち着いてきている状況にあります。終わりに、一日も早くコロナが落ち着き、日常の生活や活動ができる日が早く来ることを願っております。

常務理事雑感

八月六日・七日。南風会は、青梅も新宿も夏祭りでした。青梅では、3回に分けてですが、納涼盆踊り大会を行いました。かすみの里は、踊りながら、その場でかき氷を選んで食べました。利用者の皆さん、みんな笑顔で楽しんでいました。青梅学園は、ご家族も見え、応援を受けながら、元気に盆踊りを踊りました。そして、休憩時間にかき氷を食べました。打合せをしたわけではありませんが、新宿のシヤロームみなみ風でも夏祭りが展開され、焼きそば、たこ焼き、フランクフルトと、やっぱり、かき氷を楽しみました。山下 望



シヤロームみなみ風施設長雑感  
都民ばかりでなく、日本中の人が楽しみにしてきた東京オリンピックでしたが、新型コロナウイルスで様変わりした時代の象徴的なオリンピックとなりました。アスリートの方たちの熱い努力と夢や希望をあきらめない心に沢山の感動を頂きました。外出や旅行もままならないこの時期に、自宅のテレビでオリンピックを楽しむことができました。一方で、開会式の制作担当責任者の差別的・侮蔑的発言での辞任、音楽担当者の障害者差別やいじめの過去が露見しての辞任と人権に関する日本人の意識の低さを露呈する事態ともなりました。二〇一六年四月に障害者差別解消法が施行されました。同年七月二六日に津久井やまゆり園で障害者殺傷事件が起きた。五年後の二〇二一年六月には障害者差別解消法の改正により、民間企業にも合理的配慮の義務化が決定しました。新型コロナウイルスの対応の中で、今まで以上に人の命の重さを感じてきました。障害があるから、違いがあるから、と、いっていいじめたり、差別することは許されません。一人ひとりが同じ重さの命と心を大切にすることが福祉の仕事です。東京オリンピックが開催されたこの夏に、改めて人を大切にすることを考えました。私が施設長として、若い世代にしっかりと伝えなければならぬ事は、命と心を大切にすることを福社人としての生き方だと思いを新たにしました。

廣川美也子

青梅学園施設長雑感

皆さまのお蔭様をもちまして、四月九日、清瀬から青梅に戻ってまいりました。里帰りした青梅学園の四名の利用者さん。清瀬よりも広くなった部屋でくつろぐ姿は、今ではもう、すっかり我が家といった様子です。広いホールを活用して、室

内で十分に体を動かす機会を得たことも大きな変化。逞しく変化を受けられる利用者さんたちが、一人残らず、本当に頼もしいと感じています。さて、スタッフの方は・・・、七月に、弁護士の間裁直人先生にお願いをして、「身体拘束」をテーマにしたオンライン研修を実施しました。日ごろから私たちは、安心や安全を旨として支援を考えておりますが、「身体拘束をゼロにしていく取り組みのためには、常に今提供している支援が、利用者の尊厳を護っているか」という視点が大切。」という言葉に多くの職員が「ハッとしました。」と感想を述べています。「安全第一」の中に、自由を奪うというリスクが隠れてはいないか。何気なく使っているエレベーターのテンキー錠は？向精神薬は？集団生活のための様々なルールは？数ある制限のなかで生活している利用者の皆さんが当たり前のように受けている「不自由さ」にふと思いを寄せてみたとき、わたし達がこれから創ろうとしている青梅学園が、地域に拡がり、新たな出会いを後押しし、利用者さん一人ひとりの自由と尊厳を、更に大切にできる施設へと成長していきませうように、と、そんなことを感じる貴重な研修となりました。多くの皆さまのご支援を受け、生まれ変わった青梅学園を、地域の資源となるよう、大切に育ててまいりたいと思えます。心よりの感謝とともに、今後とも変わらぬご厚情の程お願い申し上げます

浅野日奈子



いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝スにあって、神があなたに求めたおられることである。聖書テサロニケ人への第一の手紙五章一六〜一八節